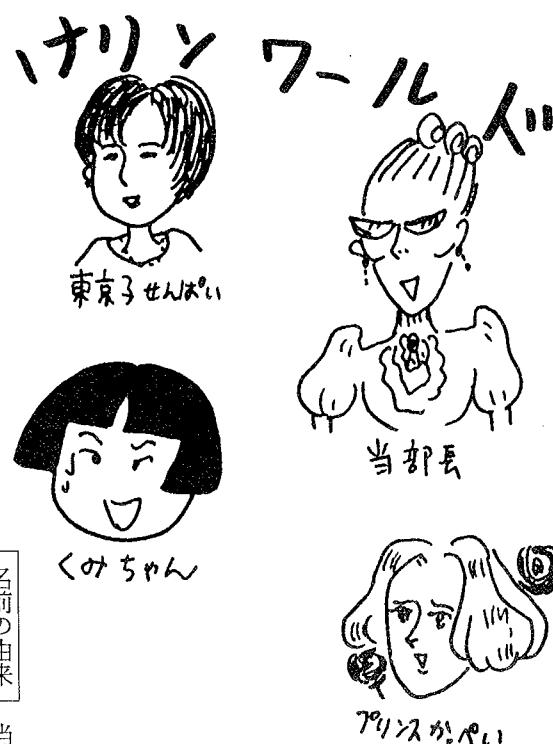


くみちゃんの世界

いつも「くみあいくみちゃん」を楽しみにして下さっている皆様に、描いているハナリ（実は社研の大花です）からのメッセージです。

げで、うれしくて、くみちゃんのネタがどんどんふえていきます。まんがを描くようになって、2年たちますが、私にとって「大学職員の誇りと楽しさ」を考えさせてくれる「くみちゃん」はラブリーなのです。



名前の由来

当局子部長はもち「組合V S当局」という「当局」ですね。敵対するんじやなくて一緒に遊べるキャラクターにしました。笑えるのが「東京子先輩」——入試要項の記入例によく載ってるやつです。現文だと「牟礼緑」さんかしら……。あと、いつも私の漫画をほめてくれる若者の漫画メディア研究もされている伊奈先生、伊奈「かっぺい」で使わせてもらいました。皆様、どうもありがとうございます。

ときどき、「くみちゃんのモデルは?」とか「あの部長はだれ?」なんて聞かれることがあります。その時わたしは、「ぜんぶ私の中にいるんです」と答えています。くみちゃんは、ジミーでタサーくて男っ気なくって、それでいてミーハーで、うでカバーしてて……描きながら、「なんていとおしんでしよう」と涙をぬぐってしまいます。当部長は「北條先生に似てる」とか「おいたちが鎌田先生」なんてウワサも流れていますが、これも私。仕事しながら、(これはわが校の伝統まさに)学生は何考えてるかわからぬ(さ)ま(い)ざま(す)と一人ごと(ちつ)う(ちつ)いざま(す)と思(おも)うのです。あ、多重人格とは私のことですね。まあ、いうなれば、この2人はここ女子大の人たちの無意識にある集合意識の中にあるシンボル(?)でしょうか。だから、(もしかしてくみちゃんのこと?)とぎくつとする人が多いのではないでしようか。でも、くみちゃんのファンで、アノンをそこへのページだけひっちゃぶつてファイルしている人とか「いつも一番先にみるよ」と言ってくれる人がいるおか